

令和元年度（第58回）農林水産祭むらづくり部門受賞団体の概要

【農林水産大臣賞受賞団体（代表者）】

●住民自治されだに〔愛媛県伊予市されだに〕（会長 みやもと 宮本 きよたか 清隆）

（1）むらづくりの背景・動機

- ・ 佐礼谷地域は 800m を超える山に囲まれた中山間地で、自然に囲まれ、きれいな水、豊かな土壌に恵まれ、果樹、夏野菜栽培を中心に発展してきた。
- ・ 平成 20 年 6 月、従前より地域の課題解決に取り組む「佐礼谷地域自治振興会」と「佐礼谷公民館」が母体となり、佐礼谷に関わる全ての人、団体、農事組合法人などの企業が一体となり住民自治組織「住民自治されだに」を立ち上げた。

（2）むらづくりの内容

① 生産面における取組状況

- ・ 「(農)クリエイト利用組合」が農地の保全に大きく貢献し、併せてホテルの里で生まれる米を「ホテル米」と命名し消費者に販売している。
- ・ 「佐礼谷ベジタブルガーデン」はモデル農場として地域の若者が農家から指導を受けながら野菜栽培を行っている。

② 生活改善の取組状況

ア 6次産業化

- ・ 「イエローキッチン（女性6人）」による郷土料理の提供、「ゆずこしょう」や「トマトうどん」の商品化など 6 次化の推進している。「ゆずこしょう」の加工では、地域住民やボランティア、地元高校からも協力を受けている。

イ 消費者との交流

- ・ 「されだにきてみん祭」「黄色い丘」「つるしびな祭り」などのイベントを通し、都市住民との交流を深めるなかで地域の魅力を再発見している。

ウ 環境保全

- ・ ホテルの保全活動により、子供達の環境保全意識が向上した。また、地域の資源としてホテル祭りを開催し、県内各地から多くの人を訪れるようになった。

（3）取り組みの成果・特徴等

- ・ 「笑顔と情熱 新しい風吹く里 されだに」を目指して農家と非農家が一体となって自治活動に取り組んでいる。また、若者を中心に、高齢者や女性などすべての年齢層の声が反映され、それぞれが地域で活躍できる場ができた。
- ・ 住民一体となった地域づくりを実践することで、地域を離れる若者も少なくなった。また、地域の将来を担う子供たちを地域で大切に育てる気運ができるとともに、イベントや体験ツアーを通じた「移住定住促進事業」にも取り組みはじめた。